

## 【教科書と副教材】

## 〈教科書〉

「伝え合う言葉 中学国語I」(教育出版)、「中学書写」(教育出版)

## 〈副教材〉

「漢字練習ノート」(とうほう)、「図解で!わかる文法」(学宝社)、「国語活用資料集」(新学社)

「よくわかる国語の学習」(明治図書)

## 1. 評価の観点

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。

## 2. 評価の方法

評価の方法・観点	評価材料
①知識・技能	小テスト、定期考査、ワークシート、提出物など
②思考・判断・表現	小テスト、定期考査、ワークシート、提出物など
③主体的に学習に取り組む態度	授業観察、振り返りシート、課題への取り組み内容など

## 学習のアドバイス

- 授業が基本です。自分の考えをもち、参加しましょう。短時間でも家庭学習で復習しましょう。
- 授業では目標を提示します。各時間の目標に向けて学習へ取り組みましょう。
- 話し合い活動は積極的に参加をしましょう。自分の考えを広げたり、深めたりすることができます。
- 常日頃からメモをとる習慣を身につけましょう。「聞く」力が伸びます。
- 手段や目的に沿って「書く」力を育みましょう。書くことは繰り返すことで、力が身につきます。
- 教科書を何度も「読み」ましょう。言葉に立ち止まって読むことで、書き手の伝えたいことが見えてきます。  
日頃の読書も大切に、自らの考えの向上や語句の習得に励みましょう。
- ノートのメモ欄に、重要だと思うことや、他者・自己の意見を書くようにしましょう。
- 分からない「言葉」が出てきたら調べる習慣を身につけましょう。
- 書写では、正しく筆記用具や筆を持ち、正しい姿勢で臨みましょう。お手本の点画の配置や余白のバランスなどに注意して創作するようにしましょう。

3. 1年国語科履修予定

月		履修予定	その他
1 学 期	4月	ガイダンス 一 学びをひらく	
	5月	二 論理を知る	
	6月	三 世界をひらく 書写:硬筆練習(楷書体)	期末考査
	7月		終業式
	8月		
2 学 期	8月	四 情報を得る	始業式
	9月	五 古典にふれる	中間考査
	10月	六 豊かに想像する	
	11月	七 関係を捉える	期末考査
	12月	書写:太筆による、毛筆練習(行書体) 書写:鉛筆による、硬筆練習(行書体) 毛筆による、書き初め練習	終業式
3 学 期	1月	八 考えを確かめる	始業式
	2月	九 表現を捉える	期末考査
	3月		卒業式

文法の学習



## 【教科書と副教材】

## &lt;歴史的分野&gt;

教科書:中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き(帝国書院)

副教材:社会の自主学习 歴史I(新学社)

## &lt;地理的分野&gt;

教科書:中学生の地理 世界の姿と日本の国土(帝国書院)

副教材:社会の自主学习 地理I(新学社)

## &lt;全分野&gt;

教科書:中学校社会科地図(帝国書院)

## 1. 評価の観点

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料からさまざまな情報を効果的に調べまとめている。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

## 2. 評価の方法

評価の方法・観点	評価材料
①知識・技能	○小テスト ○定期考査 ○課題 ○授業プリント など
②思考・判断・表現	○小テスト ○定期考査 ○レポート課題 ○授業プリント など
③主体的に学習に取り組む態度	○学習活動への取り組み方 ○ワークの記述 ○課題 ○ワークシート(単元学習カード、振り返りシートなど)の記述 など

## 学習のアドバイス

- 世の中のさまざまな現象に目を向け、それを当たり前のもので捉える前に、そのことはなぜ起こったのか、背景には何があるのかなど、深く考えてみましょう。
- 教科書や資料集を利用し、学習した事柄を復習しましょう。
- 学習した事柄のつながりを意識して、考えを深めましょう。
- 新聞やニュースに関心を持ち、世の中の動きを捉えましょう。
- 博物館や資料館、公共施設を訪問し、実物や本物に触れてみましょう。

3. 第1学年社会科履修予定

月		履修予定		その他
		【地理的分野】	【歴史的分野】	
1 学 期	4月	★オリエンテーション 第1部 世界と日本の地域構成 第1章 世界の姿 p.2～13	★オリエンテーション 第1部 歴史のとらえ方と調べ方 第1節 歴史の流れと時代区分 p.1～5	期末考査  終業式
	5月	第2章 日本の姿 p.14～25	第2部 歴史の大きな流れと時代の 移り変わり 第1章 古代国家の成立と東アジア 第1節 人類の登場から文明の発生 へ p.14～23	
	6月	第2部 世界のさまざまな地域 第1章 人々の生活と環境 p.26～42	第2節 東アジアの中の倭（日本） p.24～31	
	7月	第2章 世界の諸地域 第1節 アジア州 p.46～62	第3節 中国にならった国家づくり p.34～47	
	8月			
2 学 期	8月	第2節 ヨーロッパ州 p.64～78	第4節 展開する天皇・貴族の政治 p.48～57	始業式  中間考査
	9月			
	10月	第3節 アフリカ州 p.80～90	第2章 武家政権の成長と東アジア 第1節 武士の世の始まり p.58～ 69	期末考査
	11月	第4節 北アメリカ州 p.92～104	第2節 武家政権の内と外 p.70～ 79	終業式
	12月	第5節 南アメリカ州 p.106～116		
3 学 期	1月	第6節 オセアニア州 p.118～126	第3節 人々の結び付きが強まる社 会 p.80～92	始業式
	2月	第3部 日本のさまざまな地域 第1章 地域調査のしかた p.128～138	第3章 武家政権の展開と世界の動 き 第1節 大航海によって結びつく世 界 p.94～p.103	期末考査
	3月	第2章 日本の地域的特色 p.140～165		卒業式 修了式

## 【教科書と副教材】

教科書: 未来へひろがる数学I (啓林館)

副教材: よくわかる数学の学習I (明治図書)

## 1. 評価の観点

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。</li> <li>・事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。</li> </ul>	数学を活用して事象を論理的に考察する力, 数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力, 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え, 数学を生活や学習に生かそうとしたり, 問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。

## 2. 評価の方法

評価の方法・観点	評価材料
①知識・技能	単元テスト、小テスト、定期考査 等
②思考・判断・表現	単元テスト、小テスト、定期考査、ノートへの記入 等
③主体的に学習に取り組む態度	学習の取り組み方、ノートへの記入、振り返りシート、復習小テスト等

## 学習のアドバイス

- 各章(各単元)の導入問題へ意欲的に取り組み、学びにつなげていこう。
- なぜそうなるのかを考えるようにしよう。
- 話し合い活動の機会があれば積極的に参加しよう。
- 他人に教えられるように意識して学習することで、より深く学んでいこう。
- 繰り返し問題を解き、定着させよう。

3. 第1学年数学科履修予定

月		履修予定	その他
1 学 期	4月 5月	1章 正の数・負の数 P.12~P.57	1章 単元テスト <b>(6/24~26)</b> 期末考査  2章 単元テスト 終業式(7/25)
	6月	2章 文字の式 P.58~P.87	
	7月		
2 学 期	8月	3章 方程式 P.88~P.113	始業式(8/26) 夏休み明けテスト  中間考査 (9/11,12)  3章 単元テスト  4章 単元テスト  期末考査 (11/10~12)  終業式(12/25)
	9月		
	10月	4章 変化と対応 P.114~P.147	
	11月	5章 平面図形 P.148~P.181	
	12月		
3 学 期	1月	6章 空間図形 P.182~P.219	始業式(1/7) 5章 単元テスト  6章 単元テスト  学年末考査 (2/24~26)  7章 単元テスト 修了式(3/25)
	2月		
	3月	7章 データの活用 P.220~P.246	

## 【教科書と副教材】

教科書:未来へ広がるサイエンス Ⅰ(啓林館)

副教材:理科の完全学習 Ⅰ(正進社)

## 1. 評価の観点

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

## 2. 評価の方法

評価の方法・観点	評価材料
①知識・技能	○定期考査 ○実験プリント ○授業プリント ○小テスト など
②思考・判断・表現	○定期考査 ○実験プリント ○授業プリント など
③主体的に学習に取り組む態度	○学習活動への取り組み方 ○実験プリント ○振り返りシート ○学習内容がどのように自分たちの生活に活かされているかを探求するなど

## 学習のアドバイス

- 授業に集中し、積極的に参加する。
- 身近な自然や現象に興味をもち、理科の知識・技能と関連づけて探求する。
- 実験に積極的に参加し、予想と結果をもとに考察する。
- 教科書や問題集を利用し、学習した内容を反復して学習する。
- 学習を振り返り、単元でより深めたいことを探求する。
- 日常生活の結びつきを意識し、世の中の物事を科学的に見る。

3.1 年理科履修予定

月		履修予定	その他
1 学 期	(4月)	自然の中にあふれる生命 p2~15	
	5月	[生命 いろいろな生物とその共通点] 1章 植物の特徴とその分類 p19~20	期末考査
	6月	2章 動物の特徴と分類 p21~36 [地球 活きている地球] 1章 身近な大地 p63~72	
	7月	2章 ゆれる大地 p73~83	
	8月		
2 学 期	8月	3章 火をふく大地 p84~98	始業式
	9月	4章 語る大地 p99~117	中間考査
	10月	[物質 身の回りの物質] 1章 いろいろな物質とその性質 p135~149 2章 いろいろな気体とその性質 p150~160	
	11月	3章 水溶液の性質 p161~172 4章 物質のすがたとその変化 p173~189	期末考査
	12月		終業式
3 学 期	1月	[エネルギー 光・音・力による現象] 1章 光による現象 p200~221	始業式
		2章 音による現象 p222~231	期末考査
		3章 力による現象 p232~247	修了式

## 【教科書と副教材】

教科書:New Crown I (三省堂)

副教材:JOYFUL WORK BOOK I (新学社)

English Penmanship I (明治図書)

たて×よこドリル I (正進社)

積み上げ(明治図書)

## 1. 評価の観点

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	<p><b>知識</b>【言語材料】の【特徴やきまりに関する事項】・【用いた文の構造】・【意味や働き】を理解している。</p> <p><b>技術</b>【言語材料】などを活用して、【話題】について【話された・書かれた文等】の内容を理解する技能を身に付けている。【事柄・話題】について、【事実や自分の考え気持ち等】を即興で伝え合ったり、正確に書く技能を身に付けている。</p>	<p>【話題】について【話され・書かれた文等】を聞いて・読んで【必要な情報】を捉えている。</p> <p>【事柄・話題】について、簡単な語句や文を用いて、【内容】を即興で話したり書いたりする。</p> <p>【事柄・話題】について聞いたり読んだりして、【内容】を話したり書いたりする。</p>	<p>【話題】について【話され・書かれた文等】を聞いて・読んで【必要な情報】を捉えようとしている。</p> <p>【事柄・話題】について、簡単な語句や文を用いて、【内容】を即興で話したり書いたりしようとしている。【事柄・話題】について聞いたり読んだりして、【内容】を話したり書いたりしようとしている。</p>

## 2. 評価の方法

評価の方法・観点	評価材料
① 知識・技能	単語テスト、音読テスト、定期考査
② 思考・判断・表現	スピーキングテスト、リスニングテスト、定期テスト
③ 主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み、音読カード、宿題カード、ノート、ワーク

## 学習のアドバイス

- 「話す・聞く・書く・読む」を意識して、毎日英語に触れる。
- 新出単語や本文などをノートに繰り返し練習する。
- 習ったところをその日のうちにワークで復習する。
- 毎日、教科書を声に出して読んで、音読や暗唱に努める。
- 宿題は、家庭学習を身に付けるためにも、帰宅したらすぐやるようにする。
- 本やインターネット、テレビなどを通し、外国の文化や言語について関心をもつ。

3. 第1学年英語科履修予定

月		履修予定	その他
1 学 期	4月	Starter / My Dictionary アルファベット、フォニックス、コミュニケーションを楽しもう	
	5月	Lesson1~4 (p.25~61)	
	6月	Lesson1 be 動詞(am,are)、一般動詞(1・2人称)	期末考査
	7月	Lesson2 助動詞 can など Lesson3 be 動詞(is)、命令文など	終業式
	8月	Lesson4 過去形	
2 学 期	8月		始業式
	9月	Lesson5~7(p.62~104)	
	10月	Lesson5 三人称単数現在形など	中間考査
	11月	Lesson6 現在進行形など	期末考査
	12月	Lesson7 一般動詞の過去形など	終業式
3 学 期	1月	Lesson8,9(p.105~132)	始業式
	2月	Lesson8 be 動詞の過去形、過去進行形	学年末考査
	3月	Lesson9 未来を表す表現(will,be going to など)	卒業式 修了式

# 八王子市立松木中学校 教科履修予定

## 第1学年 音楽 年間授業時数 45時間

### 【教科書と副教材】

教科書(教育芸術社):中学生の音楽I

中学生の器楽

副教材(正進社):音楽のハーモニー(ワーク)、コーラスフェスティバル(合唱曲集)

### 1. 評価の観点

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	<p>・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>・創意工夫を生かした表現をするために、必要な技能(歌唱法や器楽演奏法など)を身に付け、表現している。</p> <p>・音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解し、楽器の音色やハーモニーを理解して聴く。</p>	<p>・取り組む作品について理解しその作品が生み出す雰囲気や特質を感受しながら知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表現するかについて思いや意図をもっている。また、鑑賞においては、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え作品の良さや美しさを味わって聴いたりしている。</p>	<p>・その題材の学習に粘り強く取り組んだり、自らの学習を調整しようとする意思をもったりしたりして、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>・表現しようとするものがより良いものになるように自ら探求し、伝えようとする意欲を持って取り組もうとしている。</p>

### 2. 評価の方法

評価の方法・観点	評価材料
①知識・技能	声楽、器楽の実技テスト、定期考査など
②思考・判断・表現	ワークシートへの記述、定期考査など
③主体的に学習に取り組む態度	振り返りシート、自己評価シートの記述など

#### 学習のアドバイス

- 勇気を出して表現してみる。
- 実技は粘り強く、繰り返し練習する。
- 提出物や課題には丁寧に、確実に取り組む。

3. 第1学年音楽科履修予定

月		履修予定	その他
1 学 期	4月	歌唱:「校歌」歌唱と指揮	期末考査  終業式
	5月	歌唱「浜辺の歌」  鑑賞:「春」第1楽章	
	6月	合唱:「夢の世界を」 クラス合唱曲 (クラスごと)	
	7月		
	8月		
2 学 期	8月		始業式
	9月	器楽:リコーダー基礎  合唱:「夢の世界を」 クラス合唱曲 (クラスごと)	期末考査
	10月	鑑賞:「魔王」	
	11月	鑑賞:「越天楽」	終業式
12月	楽典:音階		
3 学 期	1月	器楽:「さくら」箏実習  鑑賞:「六段の調べ」	始業式
	2月		期末考査
	3月	合唱:入学式歌、卒業式歌	卒業式 修了式

## 【教科書と副教材】

教科書(日本文教出版株式会社):美術・I 美術との出会い

副教材(開隆堂出版):美術資料 表現と鑑賞

## 1. 評価の観点

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。	・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。	・楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

## 2. 評価の方法

評価の方法・観点	評価材料
① 知識・技能	○作品 ○ワークシート ○定期考査など
② 思考・判断・表現	○作品 ○ワークシート ○アイデア下描き用紙 ○定期考査など
③ 主体的に学習に取り組む態度	○作品の制作状況 ○ワークシート の記述内容 ○制作カード(振り返りの記入内容) ○課題 など

## 学習のアドバイス

- 身近にある美しいもの・すてきなもの・好ましいものを普段から目にし、そのよさや美しさを感じ取る。
- 参考作品や作例を基に、自分なりの発想や構想を広げ、表現を工夫し追求する。
- 忘れ物をせず、道具や用具を大切に扱う。集中して制作に取り組める環境を大切にする。
- 自分の表現は自分にしかできない世界でただ一つの表現です。自分らしさを大切にする。
- 友達の作品を鑑賞し、よさや工夫点を見つけ学ぼうとする。
- 作品のよさや美しさ、工夫点を文章にしたり、発表したりしていきましょう。

3.1年 美術科履修予定

月		履修予定	その他	
1 学 期	4月	○オリエンテーション ・教科書作品鑑賞 ・色の見え方 ○レタリング ・明朝体とゴシック体の特徴と効果	期末 考 査	
	5月	・「永」を明朝体とゴシック体で描く ○色の学習 ・無彩色と有彩色 ・色の三属性(三要素)色相・明度・彩度・三原色		
	6月	・アクリル絵具の使い方と塗り方 ・色の感じ:暖かい⇄寒い・軽い⇄重い・強い⇄弱い ○文字が生み出すイメージ 「絵文字」制作 ・テーマ決め(アイデアスケッチ) ・下書き		終 業 式
	7月	・彩色;色の学習より、色相・明度・彩度、色の感情などを効果的に使う		
2 学 期	8月	・「絵文字」鑑賞会と振り返り ○木版画制作	始 業 式	
	9月	・漫画の手法で動きを軌跡の線で表現する。 ・テーマ決め・下絵制作・裏なぞり ・版木にカーボン紙で転写 ・彫刻刀の安全な使い方を学ぶ・三角刀で線彫り	中 間 考 査	
	10月	○鑑賞「佐藤国男」「浮世絵」 ・浮世絵の特徴・作家と作品・西洋(印象派)への影響 ・木版画続き	期 末 考 査	
	11月	・試し刷り(線彫りの確認) ・本刷り ○木版画 作品鑑賞会と振り返り	終 業 式	
	12月	○紙でつくる「飛び出すカードづくり」 ・切り込みを入れて折ると、開いたときに飛び出す仕組みを理解する。		
3 学 期	1月	紙でつくる「飛び出すカード」(続き) ・アイデアスケッチと試作品作り。 ・本制作。 ・相互鑑賞会と振り返り	始 業 式	
	2月	○鑑賞:「原始の美に出会う旅」からルネサンスへ ・立体感、奥行き表現	期 末 考 査	
	3月		卒 業 式 修 了 式	

## 【教科書と副教材】

教科書:新しい保健体育【東京書籍】

副教材:図解体育【あかつき出版】

中学保健学習ノート【正進社】

## 1. 評価の観点

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組もうとしている。

## 2. 評価の方法

評価の方法・観点	評価材料
① 知識・技能	定期考査、授業観察、学習カード、技能テストなど
② 思考・判断・表現	定期考査、ワークシート、学習カード、単元末のレポートなど
③ 主体的に学習に取り組む態度	学習内容への取り組み方、ペア学習観察、ワークシートへの記述内容、学習カードの内容など

## 学習のアドバイス

- 教科書や図解体育を利用しながら、学習した運動のルールや行い方を復習する。
- 基本的な運動を継続することを目指し、体力の保持増進に取り組む。
- 練習方法や作戦など仲間と協力しながら伝えあうなどのコミュニケーションを大切に取る。
- 健康・安全に留意しながら課題解決に向けて主体的に取り組む。
- 運動の得意・不得意に関係なく、様々な運動や健康に関する課題に対して、解決する方法を自から調べたり挑戦しようとしたりするなど、粘り強く取り組む姿勢を大切にしながら授業に参加する。

令和7年度 第1学年保健体育科履修予定

八王子市立松木中学校

月		履修予定	その他
1 学 期	4月	体づくり運動、集団行動、ラジオ体操	期末考査 (6/24~26)  終業式(7/25)
	5月	陸上競技〔短距離走・リレー〕 新体カテスト	
	6月	バレーボール〔球技・ネット型〕 水泳〔クロール、平泳ぎ〕	
	7月	【保健分野】 健康的な生活と疾病の予防①P6~P18	
2 学 期	8月	器械運動〔マット運動〕	始業式(8/26)  中間考査 (9/11~12)  期末考査 (11/14~16)  終業式(12/25)
	9月	ソフトボール〔球技・ベースボール型〕	
	10月	柔道〔武道〕	
	11月	【保健分野】 心身機能の発達と心の健康P19~P29 バスケットボール〔球技・ゴール型〕	
	12月		
3 学 期	1月	【体育理論】 運動やスポーツの多様性 P49~P59 陸上競技〔長距離走〕 球技全般 【保健分野】 心身機能の発達と心の健康 P30~P47 ダンス〔現代的なリズムのダンス〕  体づくり運動	始業式(1/7)  期末考査 (2/24~26)  卒業式(3/19)  修了式(3/25)

## 八王子市立松木中学校 教科履修予定

第1学年 技術・家庭科(技術分野) 年間授業時数 35時間

## 【教科書と副教材】

教科書:新しい技術・家庭 技術分野(東京書籍)

## 1. 評価の観点

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	生活や社会で利用されている技術について、理解し、活用することができる。 生活に関わる技能を身に付け生活や社会、環境との関わりについて理解している。	技術に関わる問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして、課題を解決する力を身に付けている。	授業の課題や、生活の中の問題に対して、主体的に問題解決に取り組もうとしている。

## 2. 評価の方法

評価の方法・観点	評価材料
①知識・技能	定期考査 振り返り(レポート) 作品製作・ワーク(プリント)
②思考・判断・表現	定期考査 振り返り(レポート)・ノート 作品製作・ワーク(プリント)
③主体的に学習に取り組む態度	振り返り(レポート)・ノート 作品製作・ワーク(プリント) 授業取り組みなど

## 学習のアドバイス

- 作品製作が授業の中心になります。製作の手順、工程をしっかりと確認しておきましょう。
- 実習に関わる技能は該当部分の教科書、ノート、プリント等を確認するようにしましょう。
- 提出物の期限を守りましょう。

3. 第1学年技術・家庭科(技術分野)履修予定

月		履修予定	その他	
1 学 期	4月	ガイダンス	始業式	
	5月	第1編 材料と加工の技術 P18~49 材料の特徴を知ろう 丈夫な構造を考えよう 構想を形にしよう。(製図)		
	6月	【実習】製図 製作の計画を立てよう(製作工程表)		期末考査
	7月			
	8月		終業式	
2 学 期	8月	第1編 材料と加工の技術 P50~59 作業手順を考えて製作しよう	始業式	
	9月	【実習】マルチラック(木エラック)の製作 けがき 切断 部品加工	中間考査	
	10月			
	11月		期末考査	
	12月		終業式	
3 学 期	1月	第1編 材料と加工の技術 P62~66、P76~87 作業手順を考えて製作しよう 【実習】マルチラック(木エラック)の製作	始業式	
	2月	部品加工 組み立て 仕上げ	期末考査	
	3月	完成した作品を評価しよう 材料と加工に関する技術を未来に生かそう	卒業式 修了式	

八王子市立松木中学校 教科履修予定

第1学年 技術・家庭 家庭分野 年間授業時数 35時間

【教科書】

教科書：新しい技術家庭科・家庭分野（東京書籍）

【副教材】

技術・家庭総合ノート 家庭分野（明治図書出版）

1. 評価の観点

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	・生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住などについての基礎的な理解とそれに係る技能について理解し、活用することができる。	・家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして、課題を解決する力を身に付けてりしている。	・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の表現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付けようとしている。 ・授業の課題や、生活の中の問題に対して、主体的に問題解決に取り組もうとしている。

2. 評価の方法

評価の方法・観点	評価材料
①知識・技能	実技テスト、定期考査、作品製作など
②思考・判断・表現	定期考査、ワークシートへの記述、レポート、作品製作など
③主体的に学習に取り組む態度	学習の取り組み方、ワークシートへの記述、レポート、振り返りシート 授業にのぞむ姿勢

学習のアドバイス

- 授業を大切に受けることが、何よりも大切です。  
(忘れ物をしないように心がけて、授業中には発言し、積極的に参加しましょう。  
ていねいにプリントを記入して、テスト前の復習に役立てましょう。)
- 家庭でのお手伝いは、積極的に取り組みましょう。  
(食器洗いや、食事の準備、包丁の使い方、ボタン付け等もやってみましょう。  
家庭でお手伝いをしながら、実技の作業に親しんでおくことが大切です。)
- 提出物の期限を守りましょう。  
(ワークやプリントや実技作品等の完成期限を守りましょう。)

月		履修予定	その他
1 学 期	4月	1編1章 家庭分野のガイダンス 1編2章 私たちの家族と家庭生活 6編1章 家族・家庭生活での自立① 2編1章 食事の役割と中学生の栄養の特徴 3編2章生活を豊かにするために(ブックカバー製作)	始業式 入学式    期末考査   終業式
	5月		
	6月		
	7月		
	8月		
2 学 期	8月	2編2章 中学生に必要な栄養を満たす食事 3章 調理のための選択と購入 4章 日本の調理と地域の食文化	始業式   中間考査   期末考査   終業式
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
3 学 期	1月	3編1章 衣服の選択と手入れ  3編2章 生活を豊かにするために  3編3章 持続可能な衣生活	始業式   期末考査   卒業式 修了式
	2月		
	3月		